

中山道の道筋を調べるには



〒335-0021 戸田市大字新曽1707 TEL442-2800 HP <https://library.toda.saitama.jp/>

中山道は、五街道の一つで、江戸と京都を結ぶ江戸時代の重要な幹線でした。戸田は、板橋宿と蕨宿の間に位置し、南北に中山道が通っています。今回は、中山道が地図上のどこを通過していたのか調べるための本を紹介します。

「中山道の道筋」を調べるためのキーワード

中山道、街道、道筋、戸田、江戸時代、戸田の渡し(戸田渡船場)、旅

オンライン目録(OPAC)、インターネット及び各種データベースを検索する際の参考にしてください。

テーマの棚に行って本を探す。

- 図書館の本は一冊ずつ分類記号が付いています。棚の本は分類記号の番号順に並んでいます。「中山道」に関する資料の多くは、次の分類に該当します。本を探すときの目安にしてください。

「中山道」に関する主な分類記号※これがすべてではありません。

210.5	近世史	213.4	埼玉県の歴史	291.3	関東地方の地誌	291.5	中部地方の地誌
682.1	日本の交通史						

中山道を調べるための本

- 中山道の道筋を調べるときは、郷土特集架「中山道」のコーナーの本が参考になります。

中山道の道筋を調べるための本

【地図及び絵図】

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『復元江戸情報地図』	朝日新聞社	1994	R291.3	中央2階・地図架
	p.5、6、13、20、26 日本橋を起点に駒込、巣鴨を経て、第一の宿場である板橋宿までの道筋を現在の地図と古地図で同時に確認できます。			
なかせんどうぶんけんのべえず 『中山道分間延絵図』 第1巻	東京美術	1976	T291.5	中央2階・カウンター
	※折本 駒込から板橋、蕨及び浦和を通り大宮までの中山道の様子を絵図で確認できます。			
『戸田市史ある記マップ』 ふみ	戸田市	2013	T291.3	中央2階・郷土戸田
	L1～L9 戸田市に残る旧中山道の一部と現在の中山道の位置を地図で確認できます。			

【中山道に関する資料】

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『今昔中山道独案内』 ひとり 新装版	日本交通公社出版事業局	1994	T291.5	中央2階・郷土特集棚
	p.22～363「中山道六十九次」 ※p.35～36 戸田の記述あり 日本橋から草津までの宿場ごとの距離及び道筋を調べられます。地形図上の朱線は、中山道を表しています。			
『中山道69次を歩く』 新版	信濃毎日新聞社	2007	T291.5	中央2階・郷土特集棚
	p.8～185 ※p.12～13「蕨宿」に戸田の記述あり 現在の中山道の状況を、「車通行可能」「徒歩道」「通行不能」の三つに色分けしています。			
『江戸の街道』特別展	埼玉県立歴史と民俗の博物館	2014	T291.5	中央2階・郷土特集棚
	p.10～27「(1) 埼玉県域の街道と宿場①中山道」 郵政博物館及び東京国立博物館所蔵の「中山道分間延絵図」を見比べることができます。※掲載範囲は、埼玉県内のみです。			
『中山道』(歴史の道調査報告書 第5集)	埼玉県教育委員会	1986	T682.1	中央2階・郷土特集棚
	p.45～50「第3章 沿道地図」(第1図～第8図) ※p.51～52 戸田の記述あり 埼玉県内に残る中山道の実態調査報告書です。地形図上に中山道の道筋を朱線で表しています。調査区域は、戸田市川岸の戸田渡船場跡から児玉郡上里町の神流川渡し場跡までです。			
『開設四百年中山道-武州往来-』特別展	埼玉県立博物館	2002	T682.1	中央2階・郷土特集棚
	p.58～65「埼玉県内中山道道筋図」 ※p.65 戸田の記述あり 神流川渡し場跡から「戸田渡船場・河岸場跡」まで59地点の中山道の道筋を5万分の1地形図で確認できます。			

【戸田市関係資料】

書名	出版者	出版年	分類	本がある場所
『戸田市史研究』 12号	戸田市立郷土博物館	1999	T213.4	中央2階・郷土戸田
	p.1~28「 中山道一里塚の研究 」 中山道の推移及び一里塚の変遷を紹介しています。第3章「戸田の一里塚について」では、史料をもとに戸田にあった一里塚の所在位置について検証しています。			

★中山道に関する「調べ案内」は、他にもあります。

[「中山道の概要を調べるには」](#) (593KB)

[「中山道の宿場を調べるには」](#) (634KB)

[「中山道の通行者を調べるには」](#) (649KB)

[「戸田の渡しについて調べるには」](#) (541KB)

[「江戸時代の「記録に登場する中山道を調べるには」](#) (669KB)

※リンク先は、PDF ファイルです。



今回、紹介した資料は、図書館で所蔵する中山道に関する資料の一部です。